

## 2026 海員春闘 現場の声を要求に! 訪船や集会で組合員の意見を集約

2026年度の労働協約改定に向けて、1月6日～2月16日までを大衆討議期間として、北海道から沖縄までの全国各地で、現場組合員の声を意見集約した。今年の春闘は海運・水産産業、そして陸上の一般企業も含め、昨年から続く物価高騰から生活を守るための厳しい交渉が予想される。

大衆討議期間中は、全国各地での担当訪船や現場集会で、要求案に対する現場組合員の意見集約を図った。外航、大型カーフェリー・旅客船、内航二団体、全内航、港湾部門は「船員しんぶん」の号外を配布、水産部門などは各支部から要求案が現場に付された。労働協約改定要求には、各現場組合員の声・意見が反映される。

### 関東地方支部

関東地方支部は1月6日から始まった大衆討議期間中、訪船や集会で外航・内航・沿海・港湾・水産それぞれの部門の意見を集約し、現場と執行部間の意思疎通と共通認識を図った。令和8年度労働協約改定要求案に対する主な意見・要望は次の通り。

#### 外航部門（主な意見）

- ▽今年度も統一方針として、月例賃金の引き上げを求めていただけることを了解した。
- ▽インパクトを持たせるためにもっと大幅に上げてもいいのではないかと。特に船長のパイロット（水先人）への流出が増えている。足りない人員を外国人船員で埋めているが、文化の違いを感じる人が多い。
- ▽インフレ率に耐えられるようなベアを行っていただき、船員という職業の価値を高めてもらいたい。また、世の中全体にベアの風潮があり、上がってきているので、船員の魅力をキープできるようベアをお願いする。

#### 内航部門（主な意見）

- ▽物価上昇などで実質賃金も目減りしているため、ベースアップを頑張ってもらいたい。
- ▽賃金は船員の大きな魅力であると考えている。船員の本給について、陸上と比べまだ高いとは思わない。陸上のベアに負けないよう、引き続き頑張ってもらいたい。
- ▽若手のために昨年よりも手取りが増えるよう、ベアの継続と、年間臨時手当が改定されるように頑張ってもらいたい。
- ▽乗船期間が守られず内航船員が定着しないので、長期乗船慰労金の要求は踏み込んだ良い要求であり、勝ち取ってもらえる事に期待する。

「海員だより」